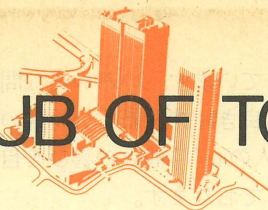




THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



No. 189 1990年8月17日

Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

会長|渡邊 治 副会長|沖 宏之 幹事|宮本 正祥

1990年8月17日(金) 第190回例会

卓 話『東ヨーロッパに拡がるいのちの電話』

社会福祉法人 いのちの電話 事務局長・常務理事 斎 藤 友紀雄 氏

次週予定 8月24日 第191回例会

卓 話(イニシエーション・スピーチ)『地球環境と私』 当クラブ会員 清水建設(株)常務取締役 宮 武 保 義 君

先週報告

1990年8月10日(金) 第189回例会 国際ロータリー第275地区ガバナー秋山 一氏公式訪問

卓話『ガバナー公式訪問に因んで』

RI 第275地区ガバナー 秋 山 一 氏



ダラスで開催された国際協議会において、パウロ V.C. コスタ RI 会長は、本年度のテーマ「ロータリーを高めよ—思いを尽くし熱意を尽くし」

(HONOR ROTARY WITH FAITH AND ENTHUSIASM) を発表しました。

HONOR には価値を高めよという意味が含まれており、ロータリーとしての誇りをもって活動することにより、ロータリーの信条を高め、その信頼のもとに、社会的にも、国際的にもロータリーを高めようという祈りのような、彼のロータリーに対する情熱があふれていると思います。また、“高めよ”は、必ずしも直接的な広報ばかり意味するのではなく、ロータリアンが自ら奉仕するその姿をもって、世の中に広報するということを指摘したいと思います。コスタ氏は熱烈なカソリックの信者なので、FAITH を、“思いを

尽くし”と約されている『マタイ伝』から引用したものです。すなわち、ロータリーを信奉するロータリアンが、自らの思いを自らの情熱をこの奉仕活動に尽すことです。

重要項目「われらの天体、地球の保全……」について、コスタ氏は、環境問題、地球の汚染問題をこれ以上是認出来ない状況になった今こそ、ロータリーのテーマとして取り上げねばならないと思ったそうです。このテーマは、単年度のプロジェクトとして発表されましたが、最近の RI 理事会において、試行的に「3年間連続のプロジェクトとする」と決議されました。

我々は現在の人間の生命、生活を最高の価値観と考え、経済活動を通じて、幸福をもたらすための努力をしているが、これが未来の人々の犠牲の上に立つ繁栄であってはならない。自然破壊と空気の汚染を伴う繁栄は、後の時代に大きな犠牲を余議なくされるのではないかという反省が生まれてきているのです。一人一人のロータリアンは、環境問題について環境保全が大切であることを認識し、これを人々に広める啓蒙運動から始め、次にクラブで何が出来るかを考え、地区レベルでもこの事業を開発していかなければならない。この啓蒙運動が国際レベルに拡がるように、各クラブも十分に準備をして頂ければ幸甚です。

ダラスでの国際協議会をお世話して下さったのは、ダラス RC でした。ダラス RC はメンバー 800 名、世界最大のクラブです。明治 45 年三井物産の福島氏が日本最初のロータリアンとして、ダラス RC の会員となられたことで、日本と因縁のあるクラブです。大正 7 年米山梅吉氏が三井銀行の視察団の一員としてダラスを訪れ、その折り、福島氏に伴われてダラス RC の例会に出席されたことが、その後、大正 9 年東京 RC を創立する礎となりました。初代会長は米山氏、初代幹事は福島氏でした。ロータリークラブの拡大は、先ず、アメリカより英語圏に拡がり、次に英語圏の支配下の国々へと、上よりの指導者によって拡がっていきました。財界の指導者の米山氏によって輸入されたロータリーの精神は、極めて崇高な職業倫理として取り入れられ、ロータリーの基礎を創って頂き、今日に至ったことは、日本のロータリアンにとって幸せなことだったと思います。

ポートランドで開催された国際大会にて、ソ連、チェコ、ハンガリー、ポーランドの国々の方が大歓迎を受けました。ロータリーもこの国々のロータリアンによって、変わるのではないかと思います。感動しました。

●1990-91年度国際ロータリーのテーマ●

ロータリーを高めよ 思いを尽くし熱意を尽くし

パウロ V.C. コスタ——ブラジル、サンパウロ州、サントス 1990—91 年度国際ロータリー会長

ロータリーも世界の変化に応じて新しい時代に向かっています。いろいろな問題もありましょう。しかし、私は、ロータリーの本道というものは受け継がれるべきものであり、古き良き精神と新しい時代の即応とを考えていかなければならないと思う次第です。“他人の哀しみを哀しみと感ずることの出来る人の心” “他人の喜びを自分の喜びと感ずることの出来る人の心” この善意が、奉仕の精神、奉仕の心を生むのではないかと考えております。(まとも 山田)

◎慶事披露

ポール・ハリス・フェロー 宮 澤 博 君

お誕生日 8月13日 谷 村 義 雄 君 100% 出席 16 年 佐 藤 定 宏 君

◎出席状況

8月10日(金)

会 員	58名	欠席者 15名 福田、廣江、保科、入沢、石東、 小西、松原、丸山、中野、小原、 斉藤、佐藤(幸)、竹島、山下、 ザルム	出席規定免除者 2名 河原、岩上
出 席	41名		出席率 73%
欠 席	17名		

8月3日(金)

7/28(土)~8/9(金)	
Make up 数	13名
修正出席率	93%

ビジター(敬称略) [都内8名]

山崎 完、森 稔/東京RC、D. Martin/東京品川RC、小池誠也/東京中央RC、吉野政樹/東京日本橋RC、
有田 弘・野末源一・H. Schmidt/東京南RC

◎ニコニコボックス

秋山 一氏(東京調布RC) 公式訪問にまいりました。皆様のご厚情に感謝します。

野末 源一氏(東京南RC) 佐藤定宏会員に大変にお世話になりました。

沖 宏之 秋山ガバナー、門馬地区幹事、小島千代田分区代理、1年間ごくろうさまです。お体にお気をつけてご活躍下さい。

宮本 正祥 ガバナーの訪問、恵ぐみの雨感謝して。

宮武 保義 秋山ガバナーさんの公式訪問有難うございます。

柴本 芳郎 入院で2ヶ月欠席し、色々ご迷惑をかけました。クラブからのお見舞い有難うございました。

勝山 英司 二宮さん、水に関する資料ありがとうございました。

谷村 義雄 8/2~8/9 少年少女書道友好団を引率し北京、承德、上海で書の交流を行なって来ました。

岩瀬 秀郎 フランス、シャモニーでモンブラン登頂を狙いましたが、風邪のため今回は断念しました。

渡部 一元 始めて受付を担当いたしましたので。

芦部 政道 台風で水不足も無くなった様です。

8月10日 11件 ¥57,000 それぞれ多額の寄付を頂き有難うございました。

第2回 クラブ協議会

1990年8月10日 10:30~12:20

第2回クラブ協議会は、当クラブ公式訪問の秋山ガバナーをお迎えして行われました。来賓は秋山 一地区ガバナー、門馬直地区幹事、小島米太郎千代田分区代理。協議会のテーマは、三つに分けて協議を行った。

1) 会員増強について

当クラブが会員増強を改めてテーマの一つに選んだ理由は、平均年齢が55才という若いクラブが、まず親睦を第一に考えた初年期から、クラブの充実と活力を支える会員増強に力を入れる第二期へ入ったからである。

昨年度は、財政の枯渇から会員の増強と経費の節約が叫ばれましたが、本年度は、「財政からの増強」を行なわない方針で、純増8名を目標とする。又南クラブとの連携で増強を考える。

職業分類表を改訂し大分類(17→14)、小分類(855→263)を大巾に割愛して見やすく解りやすくし、会員構成の指針とした。

2) 親睦活動及びローリター情報活動について

親睦委員長より本年度の具体的な親睦活動計画が発表され、親睦活動行事への積極的な参加を訴えた。

大日方会員より、委員会活動を通じて親睦を高めるべきだという提案があり、ガバナーの賛同を得た。又平井出席委員より親睦には出席率の向上が不可欠であることが強調された。

情報活動については、イ) 例会場をかりて、ロータリー情報に関する情報を3分間スピーチする

ロ) 経験の浅いロータリアンを対象にロータリーの歴史、綱領、組織運営等基本的な条項を解説する集会を年2回開催する。

3) 社会奉仕活動について

アイメイト協会への寄与の継続と、今期は新しいテーマ「いのちの電話」という電話相談による社会福祉援助を考えたい。いのちの電話事務局長である斉藤友紀雄氏の卓話をうかがい、又実務を見学して、具体的にとり組んでいきたい。

本年度RI会長及び275地区のサブテーマ「われらの天体地球の保全」に沿って、地球環境保全小委員会を設置した。具体的な啓蒙、テーマの学習を中心とする。(まとも 山田)

東京新南ロータリークラブ

事務所 〒107 東京都港区赤坂2-22-19 南部坂アネックス201号 TEL. 03-505-5976 FAX. 03-505-6004

例会日 金曜日 12時30分 例会場 東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL. 03-505-1111

会 報 委 員 山田 順則, 関 征春, 保森 登, 後藤 信夫